

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ

令和6年度入講式

日時：令和6年5月15日（水）

午後1時～3時30分

場所：大衡村「平林会館」

次 第

- 1 開 式
- 2 みやぎ森林・林業未来創造機構共同代表 式辞
- 3 祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修体系の案内
- 6 研修生紹介
- 7 研修生記念撮影

(休憩)

8 記念講演

講師：株式会社柴田産業 代表取締役 柴田君也 氏（岩手県一戸町）

演題：柴田産業が進める森林・林業の未来創造

～次代の担い手に伝えたい林業の魅力・働きがい

講師プロフィール

「岩手の山を元気にする木材屋」をキャッチフレーズに、岩手の県北にて、自社で植林、伐採、運材、製材、加工、チップ、販売と、川上から川下まで自社一貫施業を特徴とする森林資源の持続可能な循環利用を行う。日本型の林業に納得がいかず、「世界スタンダードの林業」を目指して日本に数台の次世代型林業機械を用い、欧州型 CTL システムを構築し、圧倒的な低コスト素材生産を実現。仕事を通じて広がったつながりを軸に地域社会へのローカル SDGs を浸透させながら、森林資源の循環利用を通じて持続可能な地域づくりを進めている。令和4年度から「新しい林業」経営モデル実証事業に取り組む。林野庁の林業イノベーションハブセンター専門委員会委員。

(休憩)

9 講師と研修生の意見交換

☆ホームページ [みやぎ森林・林業未来創造カレッジ \(miyagi-morimirai.jp\)](http://miyagi-morimirai.jp)

研修案内、最新情報、運営母体（機構）等の情報を掲載

◎一定期間、記念写真を掲載しますので、必要な方はダウンロードしてください。

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ

「令和六年度入講式」式辞

みやぎ森林・林業未来創造機構の共同代表を宮城県水産林政部長とともに務めております「みやぎ林業活性化基金」理事長の大内です。開式にあたり御挨拶を申し上げます。

本日は、林野庁東北森林管理局の大政局長様、宮城おおまき県知事様をはじめ、関係機関の皆様、そして記念講演をお願いしております株式会社柴田産業の柴田代表取締役様の御臨席のもと、令和六年度入講式を開催し、研修生及び所属機関の皆様をお迎えできましたことは、大変喜ばしく、意義深いことでもあります。皆様の前途を心より祝福いたします。

カレッジの運営母体である当機構は、多様な主体が

連携し協働する組織として令和二年十二月に設立され、若い世代が魅力に感じ、担い手がやりがいを持って、安心して就業できる森林・林業の創造を目指し、取組を進めております。

その中心となるカレッジについては、「産業界・地域・研究・行政が共に創り上げる学びの交流拠点」を基本方向とする本県独自のスタイルを構築し、社会や森林・林業の諸課題に向き合い、「未来の創造」を担う人材の育成に向け、令和四年四月、宮城県林業技術総合センターを拠点に開校いたしました。

カレッジの研修は、機構で検討した研修体系のもとに各機関が連携し、会員の協力を得ながら実施してまいります。令和四年度は二百五十三名、令和五年度は三百三十三名と、多くの方々が研修に参加し、修了した皆様からは、事業の拡大や業務の効率化に貢献できた、ビジネスプランを事業化につなげたといった事例や、

研修生同士の交流で今後に生かせる「つながり」ができたといった感想が寄せられています。

研修生の皆様には、カレッジへの参加を、自分を大きく成長させる機会にさせていただきたいと思えます。

林業は、皆様が活動する地域はもとより、地球環境までつながる、極めて重要な仕事です。そして、安全衛生の確保をはじめ、高い知識と技術、技能が求められます。皆様には、林業に従事することに大きな誇りを持ち、自己研鑽に励むとともに、カレッジを自分たちの「学び舎」にして、キャリアアップや、課題の解決、仲間作りなどに役立てていただけるようお願いいたします。

結びになりますが、私たち機構のビジョンは、「笑顔があふれる森林・林業」です。森林・林業分野の成長によって、美しく豊かな森林を維持し、森林所有者も、林業従事者も、市民も、笑顔があふれる社会の実

現を目指し、林業の就業環境の向上と人材の確保・育成に力を結集してまいります。また、今年度から課税が始まる森林環境税のより有効な活用や、国が進める花粉症対策、来年、本県で開催される「全国育樹祭」の盛り上げと、これを契機にした再造林の更なる推進などにも貢献していきたいと考えております。これらに向けて、引き続き、皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和六年五月十五日

みやぎ森林・林業未来創造機構

共同代表 大内 伸之